

実施報告書

令和２年度鳥取県高等学校青少年赤十字
リーダーシップ・トレーニング・センター



日程 令和２年１２月１３日（日）

会場 米子市福祉保健総合センター ふれあいの里

報告書作成：日本赤十字社鳥取県支部

1 実施概要

〔目 的〕 青少年赤十字メンバー相互の親睦を図り、赤十字精神を養い、青少年赤十字の実践を通して諸技能を習得し、集団生活の体験を通じて、自主性と協調性並びに指導性を養い、学校や地域の中で自ら行動できるリーダーの育成を目指すことを目的に開催しました。

〔日 程〕 令和2年12月13日（日） 9時30分～16時

〔会 場〕 米子市福祉保健総合センターふれあいの里（米子市錦町1丁目139-3）

〔主 催〕 鳥取県青少年赤十字指導者協議会、日本赤十字社鳥取県支部

〔後 援〕 鳥取県教育委員会

〔参加者〕 20名

内訳) メンバー（生徒） 8名

- 鳥取県立米子西高等学校（2名）
- 鳥取県立米子高等学校（2名）
- 鳥取県立米子南高等学校（1名）
- 米子北斗高等学校（3名）

指導者（顧問） 7名

- 鳥取県青少年赤十字指導者協議会長（米子南高等学校長）
- 鳥取県立米子西高等学校（1名）
- 鳥取県立米子南高等学校（2名）
- 鳥取県立境港総合技術高等学校（1名）
- 鳥取県立米子工業高等学校（1名）
- 鳥取県立米子高等学校（1名）

運営スタッフ等 5名

- 鳥取県青少年赤十字賛助奉仕団（1名）
- 日本赤十字社鳥取県支部（2名）
- 米子青年赤十字奉仕団（2名）

2 日程表	
時間	12月13日（日）
8:30	顧問・スタッフ会議(打ち合わせ)
9:00	受 付
	会場準備
9:30	開講式
	アイスブレイク
10:00	自己紹介とその後の活動報告
10:30	【研修Ⅰ】 赤十字と青少年赤十字について
11:00	
11:40	休 憩（非常食の給水）
	【研修Ⅱ】 新型コロナウイルス感染症流行下での防災
12:10	【研修Ⅲ】 非常食体験
12:30	
13:00	【研修Ⅳ】 ワークショップ
13:30	
14:00	
14:30	
15:00	ワークショップ発表
15:30	閉講式
16:00	会場片づけ
16:30	解散
17:00	顧問・スタッフ会議(ふり返し)

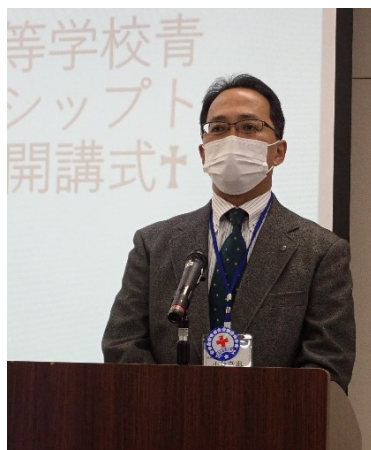
3 実施内容

〔開講式〕

健康状態を確認後、手指消毒を済ませ、メンバーの進行により、永野 智之鳥取県指導者協議会長、小林 敬典 日赤鳥取県支部事務局長、福原 則昭賛助奉仕団顧問、生徒代表 足立 唯 沙和 米子北斗高等学校メンバーの順に挨拶がありました。



永野 智之 会長
(青少年赤十字指導者協議会)



小林 敬典 事務局長
(日本赤十字社鳥取県支部)



生徒代表 足立 唯さん
(米子北斗高等学校)



福原 則昭 顧問
(青少年席赤十字賛助奉仕団)

〔オリエンテーション〕

吉持敦 指導者よりトレーニングセンターにおける日程や留意事項の説明がありました。

〔アイスブレイク〕

米子青年赤十字奉仕団の甲田さん、藤原さんのリードで無言でバースデイチェーンをつくり、全員のマスクから上の顔と誕生日を確認しました。

〔研修Ⅰ 自己紹介と活動報告〕



米子高等学校
大庭 希望 さん



米子西高等学校
一橋 綾香 さん

各学校の今年の JRC 活動を紹介しました。

- ・生徒代表者会議後に研修会の「3つの顔」を伝達や手洗いの呼びかけ
- ・学校祭でポスター展示
- ・ひまわりプロジェクトの実施
- ・3つの顔パネルの作成等々学校ごとに工夫がみられました。



米子北斗高等学校
足立 唯 さん



米子南高等学校
内藤 美空 さん



米子工業高等学校
笹川 恭子 指導者

〔研修Ⅰ 赤十字と青少年赤十字〕



吉持敦 指導者（境港総合技術高等学校 JRC 部顧問）を講師に「三上剛太郎」のDVDを視聴し、赤十字や青少年赤十字の成り立ちなどを学習しました。

研修と研修の間は、しっかり換気しました！

〔研修Ⅲ 非常食体験〕

出来上がり時間を考慮し、研修Ⅱの前に、全員がアルファ化米と缶詰めやレトルト食品を発熱剤で温める体験をしました。被災地での温かいものの貴重さを実感しました。



〔研修Ⅲ 新型コロナウイルス症流行下での防災〕

令和2年7月号豪雨災害での感染症対策を考慮した救護活動を視聴し、中原事業推進課長から、感染症流行時の避難所での注意点を学びました。

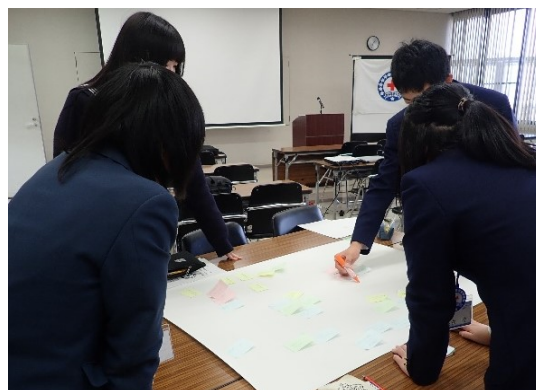


〔研修Ⅳ ワークショップ〕

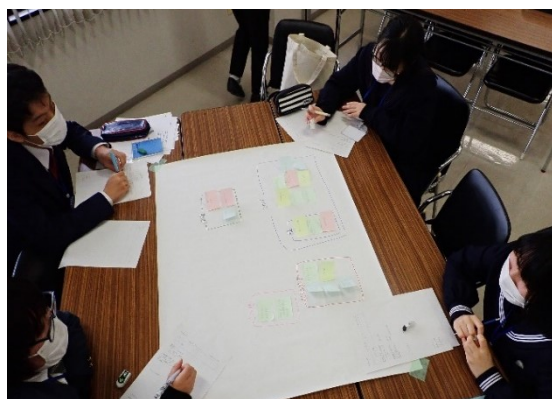
三上指導者の進行の元、10月の生徒代表者会議での話し合いから各学校の活動状況を聞き、これから各学校で協力、連絡を取りながら実施できる活動について、KJ法を用いて、話し合いました。両グループとも全員が活発に意見を出し合いました。



各自ができるだけ多くの意見を書き出す



各自分のメモを説明しグループに分ける



グループ分けをして、実際に行う活動を選択し、5W1Hの計画を立てる

〔ワークショップ結果発表〕

2つのグループが、今後実施したい活動を発表し、メンバー、指導者からの質問に答えました。



A グループ（一橋さん発表）
（一橋、藤原、足立、宮内）
各学校での感染予防動画を作成し、まとめて SNS で発信する



B グループ（坂根さん発表）
（岡本、大庭、内藤、坂根）
各学校でコロナウイルスの感染予防に関するポスターを作成し、PDF にして校外の施設に掲示してもらう。

残念ながら時間が短く、どのようにするか十分に具体策まで検討できなかった部分は、各学校でさらに検討していくことになりました。

〔閉講式〕

修了証および記念品の贈呈後、メンバーの進行で、生徒代表者、日赤鳥取県支部代表者、指導者協議会長の順に挨拶を行いました。その後、参加メンバー全員へ指導者・スタッフ全員から激励の言葉がありました。



生徒代表 大庭 希望 さん
（米子高等学校）



中原 眞理子事業推進課長
（日赤鳥取県支部）



永野 智之 会長
（青少年赤十字指導者協議会）

最後に全員で写真撮影。JRCメンバーの意気込みが目力からの感じます。

